

平成 27 年度

I 事業報告書

1 研 究 事 業

1 船積有害貨物の安全対策に関する調査研究 (船積危険品研究委員会)

(1) 調査研究目的

船積危険品の性状、積付方法、応急措置及び事故事例検討等の安全対策に関する調査研究を行い、海事関係者による成果の利用を促進し、もって船積危険品による事故防止に寄与することを目的とする。

(2) 委員会等

委員会 7回 委員 8名 関係機関 5名

(3) 調査研究事項

- イ 船積危険品の各個品ごとの調査
- ロ 積付方法、応急処置及び事故事例等に関する調査検討
- ハ 既存資料の見直し、整理
- ニ 法改正に伴う資料の修正

2 大阪湾における南海トラフ巨大地震津波の最大波が錨泊船舶に及ぼす影響の調査研究

(1) 調査研究目的

南海トラフを震源とする巨大地震に伴う津波が大阪湾に錨泊している船舶に及ぼす影響について、錨泊シミュレーションを実施することにより把握し、錨泊時の津波対処方法を取りまとめる。合わせて、津波避難のための錨泊に係る安全性、注意事項等を検討し、津波来襲時における船舶の減災対策に寄与することを目的とする。

(2) 委員会等

委員会 3回 委員 10名 関係機関 10名
錨泊シミュレーション

(3) 調査研究事項

- イ 大阪湾の航行環境及び錨泊の実態
- ロ 錨泊シミュレーションによる船体挙動の計測
- ハ 錨泊シミュレーションによる錨泊の限界等の検討
- ニ 錨泊時の津波対処方法の検討
- ホ 錨泊による津波避難の安全性の検討

3 海難防止対策検討における操船シミュレータ手法の活用に関する調査研究

(1) 調査研究目的

海難防止対策の検討における航行の安全性の評価について、過去の事例から操船に及ぼす要因の評価項目を整理し、定量化に最適な数値シミュレーション等による評価手法に関して考察するとともに、ビジュアル操船シミュレータを用いて操船状況ごとに影響評価項目を定量化する手法を開発し、もって危険要因を客観的に把握し評価する手法を確立する。

(2) 委員会等

委員会 3 回 委員 10 名 関係機関 1 名

(3) 調査研究事項

- イ ビジュアル操船シミュレーションによる客観的評価手法の提案
- ロ 操船影響把握手法の確立

4 大阪湾における台風・大型低気圧避泊に関する調査研究

(1) 調査研究目的

既往の研究を踏まえ、近年港湾施設が整備された状況で、台風や大型低気圧来襲における大阪湾内の避泊の実態をAISデータ等により解析することにより、情報提供をはじめ船舶への総合的な避泊支援のあり方を調査研究することを目的とする。

(2) 調査研究事項

AISデータ整理

2 調 査 事 業

1 阪神港における船舶の航行安全検討業務

(1) 委託者：近畿地方整備局

(2) 調査目的

神戸港第2区における水域施設、外郭施設の見直しに伴う航行環境の変化を踏まえ、新港航路の対象船舶型の大型化について安全性を評価し、湾岸道路西伸部に係る港湾計画変更（案）について、船舶の航行安全の観点から妥当性を検証することを目的とする。

(3) 調査期間：平成27年8月28日～平成28年3月18日

(4) 委員会等

委員会	2回	委員11名	関係機関	5名
操船シミュレータ実験	1回	委員11名	関係機関	5名
意見聴取会	1回	委員7名	関係機関	3名

(5) 調査事項

- イ 神戸港港湾計画一部変更（案）内容の確認
- ロ 神戸港第2区の航行船舶の状況調査
- ハ ビジュアル操船シミュレータ実験実施方案の検討
- ニ ビジュアル操船シミュレータ実験結果の解析・評価
- ホ 神戸港港湾計画一部変更（案）における航行安全の観点からの妥当性の検討

2 泉北製造所第二工場の新形式LNG運搬船受入りに係る航行安全対策調査

(1) 委託者：国土交通省海事局

(2) 調査目的

新形式LNG運搬船が全国各重要港への入出港が計画されていることに伴い、大阪ガス株式会社泉北製造所第二工場への受入りに係る航行安全対策について検討することを目的とする。

(3) 調査期間：平成27年8月27日～平成28年3月25日

(4) 委員会等

委員会	2回	委員10名	関係機関	4名
操船シミュレータ実験	1回	委員10名	関係機関	4名

検討部会 1 回 委員 10 名 関係機関 4 名

(5) 調査事項

- イ 新形式LNG運搬船の着離棧の安全性に関する検討
- ロ ビジュアル操船シミュレーション及び係留動揺シミュレーション実施結果の解析
- ハ 新形式LNG運搬船の航行安全対策に関する検討

3 四国ガス株式会社徳島工場における内航LNG船の航行安全対策等調査

(1) 委託者：四国瓦斯株式会社

(2) 調査目的

四国瓦斯㈱が計画している徳島工場への内航LNG船によるLNGの海上輸送に関する航行安全対策及び海上防災対策の検討を行うことを目的とする。

(3) 調査期間：平成27年8月4日～平成28年3月31日

(4) 委員会等

委員会 2回 委員12名 関係機関 6名

検討部会 2回 委員10名 関係機関 5名

(5) 調査事項

- イ 内航LNG船によるLNGの海上輸送に関する航行安全対策の検討
- ロ 徳島小松島港入出港時の航行安全対策の検討
- ハ 航行時及び徳島小松島港係留中の海上防災対策の検討

4 神戸港航行船舶検討基礎資料作成業務

(1) 委託者：近畿地方整備局 神戸港湾事務所

(2) 調査目的

神戸港六甲東水路意見聴取会の意見を取りまとめ、海事関係者等への海難防止の合意形成を図り、事業実施に関する検討資料等の作成を行うことを目的とする。

(3) 調査期間：平成28年3月10日～平成28年3月31日

3 情 報 開 示

1 神戸沖埋立処分場航行安全情報管理業務

委託者：大阪湾広域臨海環境整備センター

期 間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

神戸港第6区水域内の神戸沖埋立処分場における廃棄物海上運搬・廃棄物陸揚業務、護岸工事等の実施に係る入出港船舶、工事作業等の情報を収集・整理し、関係者に提供するとともに、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知し、作業海域付近の監視、警戒船に対する指導等の航行安全情報管理業務を実施した。

2 神戸港ポートアイランド（第2期）地区航路（-16m）第六南防波堤撤去工事に伴う航行安全情報管理業務

委託者：近畿地方整備局 神戸港湾事務所

期 間：平成27年7月6日～平成28年3月28日

神戸港ポートアイランド（第2期）地区航路（-16m）第六南防波堤撤去工事にあたり、工事期間中の工事の安全確保と円滑な実施及び一般航行船舶の安全確保を図るため、工事作業船及び一般航行船舶等の情報等を収集・整理し、関係者に提供するとともに、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知し、作業海域付近の監視、工事作業船運航管理者等への指導・助言等の航行安全情報管理業務を実施した。

3 海難防止強調運動の実施（近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議）

（1）事業目的

全国海難防止強調運動及び霧海難の防止に係る地方海難防止強調運動の展開、推進方法を企画、策定し実施することにより海難防止に寄与することを目的とする。

（2）会議等

連絡会議	1回	構成員	29名
地区推進母体連絡会議	1回	構成員	11名

（3）審議事項

- ・地方の特性を踏まえた海難防止強調運動の実施計画及び推進方法の策定

- ・各団体の実施状況の整理、今後の広報活動等運動推進方法の策定等

4 講習会

(1)「月例会」

毎月（6、8、12月を除く。）「月例会」を開催し、当会の事業に係る業務実施状況の報告等をするほか、海難防止に資するため学識経験者、海事関係機関等による講演を実施した。

(2)「地域部会」

年1回主要港（大阪港、神戸港を除く。）において海事関係者を対象とする「地域部会」を開催し、海難防止に関する講演等を実施して、当該地域における海難防止に関する啓発を行うもので、今年度は11月徳島市において開催した。

(3)「業務運営会議」

当会の事業の運営に関し会議構成員から専門的意見を聴くため、月1回（6、8、12月を除く。）「業務運営会議」を開催した。

(4)「進路警戒船等船長講習会」

進路警戒船等の指定を受けた船舶の船長を対象に、海上交通安全法に基づく進路警戒船業務に係る講習会を神戸市で開催し、16名が受講した。

5 広報活動

(1)「会報」の刊行

年4回、当会の調査研究の成果等を「会報」にとりまとめ、会員、海事関係者、図書館等に配布した。

(2) ホームページ等の充実

イ 事業目的

海難防止、航行安全に係る調査研究資料、港湾、海上交通に係る各種の情報、強調運動等の活動に係る広報資料等を収集、作成、編集するなどしてホームページ・データベースを充実し、海事関係者はもとより広く一般に広報することにより、海難防止思想を啓発し、海難防止に資する。

ロ 実施事項

データベースに保存している資料の充実・更新を図り、さらに、当会ホームページを活用して情報管理業務に関する各情報管理室が収集・整理した航行安全情報や工事情報等及び調査研究事業の調査結果を広く一般に周

知するためホームページの更新を随時実施した。

4 会 議

1 理事会及び総会

(1) 第10回 理事会

- (イ) 日 時 平成27年5月27日 (水)
- (ロ) 場 所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階 (銀河の間)
- (ハ) 出席者 13名 (理事10名、監事3名)
- (ニ) 議 案
 - 第1号議案 平成26年度事業報告及び決算について
 - 第2号議案 入会申込みの承認について
 - 第3号議案 第4回定時総会の開催について
 - 第4号議案 定款等の変更について
 - 第5号議案 役員 (理事) の選解任について
 - 第6号議案 その他

(2) 第4回 定時総会

- (イ) 日 時 平成27年6月17日 (水)
- (ロ) 場 所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階 (瑞天東の間)
- (ハ) 出席者 97名 (出席者43名 書面48名 委任6名)
- (ニ) 出席役員 14名 (理事11名、監事3名)
- (ホ) 議 案
 - 第1号議案 平成26年度事業報告及び決算について
 - 第2号議案 定款等の変更について
 - 第3号議案 役員 (理事) の選任について
 - 第4号議案 その他

(3) 第11回 理事会

- (イ) 日 時 平成27年6月17日 (水)
- (ロ) 場 所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階 (瑞天東の間)
- (ハ) 出席者 17名 (理事14名、監事3名)
- (ニ) 議 案
 - 第1号議案 理事会運営規程等の変更について
 - 第2号議案 代表理事、業務執行理事等の選定及び解職について
 - 第3号議案 業務運営会議構成員の委嘱について
 - 第4号議案 その他

(4) 定款第43条第2項に基づく理事会

(イ) 書面議決のなされた日 平成27年8月3日(月)

(ロ) 書面決議に係る議案を提案した理事 赤岡 隆夫

(ハ) 議事録の作成に係わった職務を行った理事 山本 幸典

(ニ) 書面決議を行った事項の内容(議案)

廣井正男氏への感謝状贈呈の承認について

(5) 第12回 理事会

(イ) 日 時 平成27年12月9日(水)

(ロ) 場 所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階(銀河の間)

(ハ) 出席者 18名(理事15名、監事3名)

(ニ) 議 案

第1号議案 平成28年度事業計画書及び収支予算書(案)について

第2号議案 規程の改正について

個人情報保護規程(案)

事務局の組織及び運営に関する規程(案)

理事会運営規程(案)

第3号議案 規程の制定について

特定個人情報等取扱規程(案)

第4号議案 その他

2 業務運営会議

第28回(平成27年4月15日)

① 業務報告等について

② その他

第29回(平成27年5月19日)

① 業務報告等について

② その他

第30回(平成27年7月15日)

① 業務報告等について

② その他

第31回（平成27年9月16日）

- ① 業務報告等について
- ② その他

第32回（平成27年10月21日）

- ① 業務報告等について
- ② 常任調査研究委員の委嘱について
- ③ その他

第33回（平成27年11月18日）

- ① 業務報告等について
- ② 理事会提出議案について
 - ・事業計画（案）及び収支予算（案）
 - ・個人情報保護規程等の変更（案）
 - ・特定個人情報等取扱規程の制定（案）
- ③ 理事会報告事項について

第34回（平成28年1月20日）

- ① 業務報告等について
- ② その他

第35回（平成28年2月17日）

- ① 業務報告等について
- ② その他

第36回（平成28年3月15日）

- ① 業務報告等について
- ② 平成28年度常任調査研究委員の委嘱について
- ③ その他

3 月 例 会

第28回から第36回まで9回の月例会を開催し、事業報告等を行うとともに、次のとおり講演を行った。

なお、第33回については、第4回地域部会を兼ね徳島市で開催した。

- ・第28回（平成27年4月28日）
「AIS 航路標識と経路指定」
第五管区海上保安本部交通部安全課 専門官 川島 達也 氏
- ・第29回（平成27年5月19日）
「備讃瀬戸のいかなご漁と航行安全」
神戸大学 名誉教授 鈴木 三郎 氏
- ・第30回（平成27年7月24日）
「明石海峡航路の津波影響調査報告」
海上保安大学校 名誉教授 長澤 明 氏
- ・第31回（平成27年9月25日）
「神戸港の歴史と神戸開港150年に向けて」
一般社団法人 神戸港振興協会 参事 森田 潔 氏
- ・第32回（平成27年10月27日）
「船舶の共振特性と津波周期との関係について」
神戸大学 名誉教授 久保 雅義 氏
- ・第33回（第4回地域部会）（平成27年11月27日）
「巨大津波発生の科学と予測技術」
徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部
教授 馬場 俊孝 氏
「徳島小松島港の特徴と港湾分野における地震津波対策について」
四国地方整備局小松島港湾・空港整備事務所
所長 佐野 正佳 氏
- ・第34回（平成28年1月28日）
「海で学んだ日々の習慣・人間力」
大阪市立大学大学院 准教授 永田 潤子 氏
- ・第35回（平成28年2月22日）
「事故分析 ―護衛艦あたご／漁船清徳丸衝突事故―」
海上保安大学校 准教授 西村 知久 氏

・第36回（平成28年3月8日）

「巨大津波発生の科学と予測技術」

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部

教授 馬場 俊孝 氏

5 会員の現状

公益社団法人 神戸海難防止研究会

平成28年4月1日現在

区 分	平成27年4月 会 員 数	退 会 会 員 数	入 会 会 員 数	平成28年度予定 会 員 数
会社団体会員	82 名	2 名	0 名	80 名
公益団体会員	17	0	0	17
個 人 会 員	17	4	3	16
賛 助 会 員	27	0	0	27
名 誉 会 員	4	0	0	4
計	147	6	3	144

6 附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

